

「親の学習」プログラム

2-2

子どもの育ち・子どもの目線で見よう

私たちは、大人の目線で生活しています。ところが、世の中にはさまざまな目線でさまざまな世代が共生して暮らしています。子どもの目線にワープ。そのまま身の回りの世界を見てみましょう。いろいろな発見があるはずです。おもしろそうなこと、不思議なこと、怖いこと、それから危ないことなど…。

ワーク 1

つぎの資料を見て、気づいたことをメモしてみましょう。

まずは・・・身の回りには危険がいっぱい

① 「子どもの成長と事故」

	運動機能の発達	誤飲・窒息	やけど	転落	落水事故	切傷・打撲	交通事故	玩具
誕生		マクラ 敷らかいフトン による窒息	熱いミルク 熱い風呂	親が誤って 子供を落とす	入浴時の事故		自動車同乗中の 事故	
3か月	体動・足をバタバタ させる			ベッド、ソファ からの転落				
4か月								
5か月	見た物に手を出す 口の中に物を入れる	なんでも口に入れる (タバコ、ビン、小物)	ポット、飲み物 などアイロン			床にある鋭い物		小さなおもちゃの 鋭角、鋭い角のある おもちゃ
6か月	寝返りをうつ						母親との自転車 2人乗り	
7か月	ずわる			歩行器による転落				
8か月	はう		ストーブ、ヒーター	階段からの転落				
9か月	物をつかむ	ひも、よだれかけ		バギーや椅子 からの転落	浴槽への転落事故			
10か月	家具につかまり 立ちをずる			浴槽への転落		家具・建具の鋭い角 カミソリのいたずら	道でのヨチヨチ歩き	
11か月		ナッツ類						
12か月	一人歩きをする			階段からの転落				
13か月	スイッチ、ノブ ダイヤルをいじる	クスリ、化粧品 の誤飲 ビニール袋				テーブルの鋭い角、 ドアのガラス	歩行中の事故	
1歳半	走る、登る			窓、バルコニー からの転落		ドアに手をはさむ 引き出しの角など		
2歳	階段を昇り 降りする		マッチ、ライター 漏れかし器、花火		プール、川、海の 事故			スベリ台、ブランコ 花火
3歳	高い所へ昇る					屋外での石など	三輪車の事故	
3~5歳							自転車の事故	

田中哲郎『こどもの事故防止マニュアル』診断と治療社（平成7年）

メモ1

メモ2

メモ3

メモ4



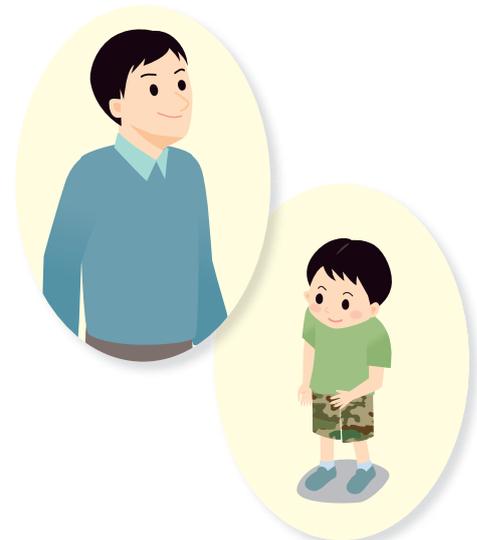
2人一組に分かれて、体験しましょう。ロールプレイで、保護者役と子ども役と両方の目線の高さを体験します。体験で気づいたことを書いておきましょう。



① 1歳児の身長75センチになって、目線を低くしてみましよう。どんなものが見えますか？



② 子どもの身長のまま、大人を見るとどのように見えますか？



③ 大人の身長で、子どもを見ると、どのように見えますか？

ふりかえり

- ①ロールプレイをとおして、何か気づいたことがありましたか。
- ②ロールプレイを一緒にした相手と話し合ってみましょう。気づいたことはありますか？

資料

「わくわく・ドキドキ」が成長の証し

みなさんは、高さ75センチの世界から、何が見えましたか？ なんだか不思議な世界でしょう？ 見慣れない風景に、もっと見たいなと思いませんか？

「見慣れないもの」、「めずらしいもの」に子どもは魅力を感じると言われています。（大人ももちろん同じですが。）赤ちゃん実験で、見慣れないものに赤ちゃんがより注目するという研究結果も報告されています。

見慣れないものを見ると、「もっともっと」を言うのが子どもです。

おもしろいもの、わくわく・ドキドキするものへの飽くことない探求が子どもの世界のおもしろさです。

そのために、大人にしてほしいこと！

「一緒に楽しむこと」です。そして大人の予想をこえたチャレンジもしますので、「目を離さないようにすること」です。

つまり、子どもの成長には、

子どもの目線から、子どもの成長を、わくわく・ドキドキしながら支えてくれる大人の存在が、大切になります。



資料**歩きタバコの危険！**

大人の目線の高さに慣れて生活していることで起きる危険もあります。大人が歩きタバコで手にもっているタバコの火は、実は歩いている幼児の顔の高さにあたります。実際に事故が報告されています。耳をやけどさせられた、ほおをやけどさせられたなど、1件、2件ではありません。

子どもが自分でこの危険を回避することは難しいもの。大人自身が、子どもが育つ環境に配慮することが必要ですね。

目の高さだけでなく、「相手の立場に優しくなる」というのが、共生社会への第一歩なのかもしれませんね。

